

JB Customer Report

カスタマーレポート



岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

禅通寺（円空庵）様

高山市の奥飛騨温泉郷で500年以上の歴史を有している臨済宗妙心寺派：禅通寺の19代目住職、小倉様にORPHIS X7200の活用法についてお話を伺いました。

①大量印刷も苦にならない

飛騨三十三観音霊場：第29番の禅通寺は、奥飛騨温泉の中心にあるお寺です。先代の時から、檀家さんに近況報告や年賀状の挨拶、催事のご案内などを中心に年6~7回印刷を行っています。先代によると、ORPHISを導入する前は家庭用インクジェットプリンターで印刷をしていた為、印刷時間・紙詰まり・印刷不良のチェック等で時間が拘束されてしまう事が悩みだったそうです。そんな時、ORPHISを紹介頂き、展示会でORPHISを見たときの衝撃はとても凄かったと聞きました。導入後は、3時間かかっていた印刷が、作業に負担無く何と2分で終了する為、近況報告の回数を増やす事もでき、「務め」の妨げもなくなりました。

「夫婦協和・智財興隆」（夫婦の協力と和合・良い知恵を授かり財を成す）の御札もORPHISで印刷をしています。1回で約150枚印刷をしています。印刷の裏抜けも少なく、必要な枚数を必要な時に印刷する為、無駄が無くなりました。

②コピーモードが大活躍

檀家さんに配付する会報は、私の「心」・「気持ち」をより届けたい為、優しく温かみがある厚手和紙の奉書紙に手書きで1枚1枚を作成していましたが、ORPHISは多様な用紙にも印刷ができると提案を受けた為、コピーモードで早速印刷を試しましたが全く問題なく印刷ができた時の驚きを未だに忘れることが出来ませんね。会報は印刷することが目的ではなく、如何に私の「心」「気持ち」を檀家さんに伝えることができるか、その私の用紙に対する拘りをORPHISはしっかりと受け止めてくれ、嬉しく思います。又、役員会の資料も手書き原稿の為、コピーモードでA3サイズの片面に面付けしORPHISで印刷、それを手作業で折って冊子に仕上げています。面付け印刷も簡単な操作で行えるので、バラバラの原稿をまとめて使いやすく加工する事が出来て非常に助かっています。

③ORPHISの可能性に期待しています

ORPHISは1分間に120枚の高速印刷ですので、用紙によっては上手く印刷出来ない時もありましたが、46g/m²~210 g/m²の幅広い厚さの用紙や、奉書紙や薄い和紙といった特殊紙・封筒などへの印刷も可能でしたので、掲示用作品に適したレーヨン入りの用紙に印刷出来るかを試してみたいですね。これからも様々な用紙の提案を期待しています。



定期的にするハガキは、目立たせたい所に色を使って効果的に。お札は印刷した後に3つ折りしています。

営業担当者の声 営業担当：小瀬 慎二



18代目住職からのお付き合いで、印刷機・スクリーン印刷機・ORPHISと17年間印刷機器でお世話になっています。

今後もお客様が期待する以上の印刷環境提案と共に、住職さんの思いが、もっともっと伝わる「用紙」を含めた用途提案を積極的に行って参ります。